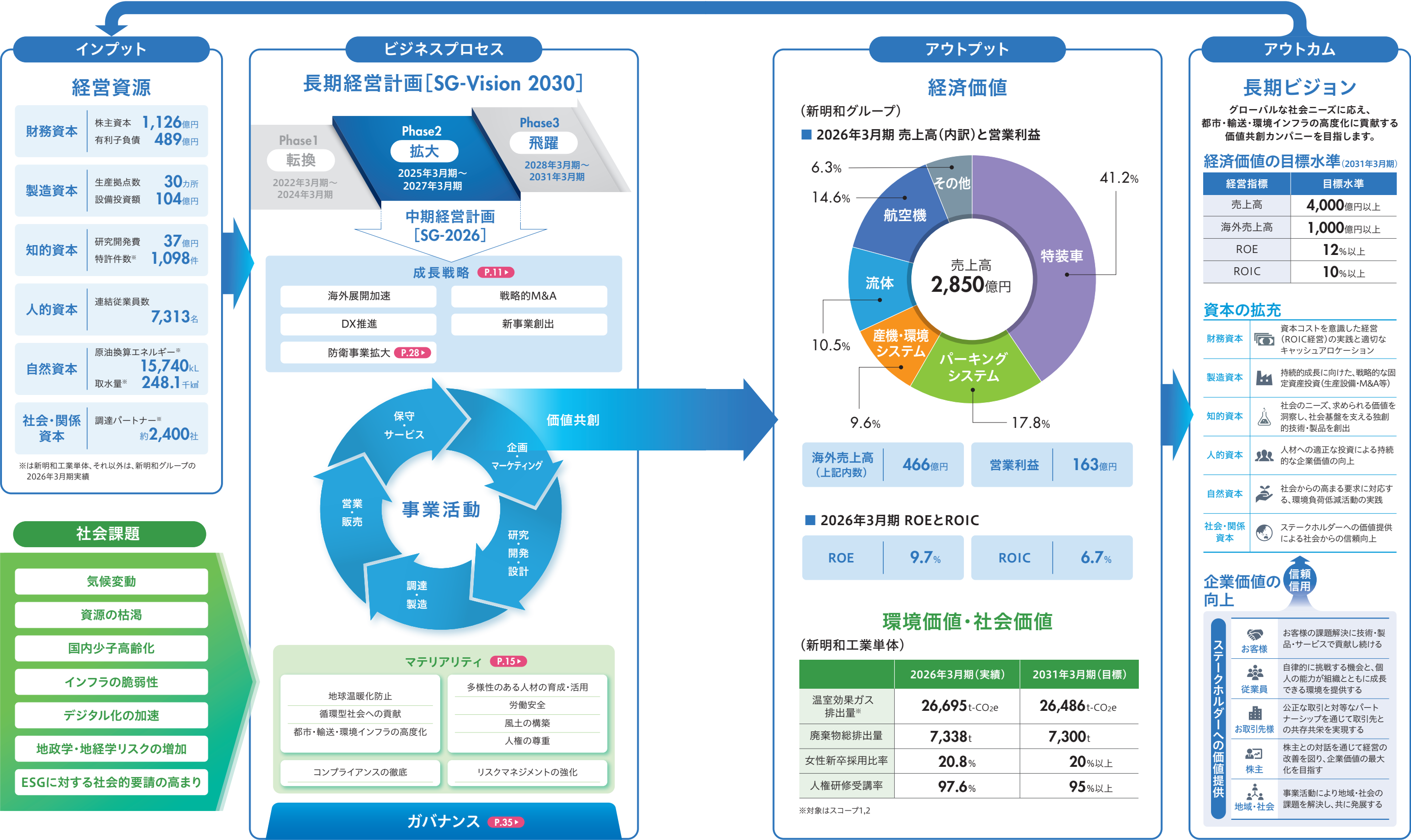


価値創造プロセス

経営理念

新明和グループは、たゆまぬ技術革新で、

安心な社会と快適な暮らしを支え続け、人々の幸せに貢献します。



アウトプット

経済価値

(新明和グループ)

2026年3月期 売上高(内訳)と営業利益

売上高 2,850億円

特装車 41.2%

航空機 14.6%

流体 10.5%

産機・環境システム 9.6%

その他 6.3%

パーキングシステム 17.8%

海外売上高(上記内数) 466億円

営業利益 163億円

2026年3月期 ROEとROIC

ROE 9.7%

ROIC 6.7%

環境価値・社会価値

(新明和工業単体)

	2026年3月期(実績)	2031年3月期(目標)
温室効果ガス排出量*	26,695 t-CO ₂ e	26,486 t-CO ₂ e
廃棄物総排出量	7,338 t	7,300 t
女性新卒採用比率	20.8%	20%以上
人権研修受講率	97.6%	95%以上

※対象はスコープ1,2

アウトカム

長期ビジョン

グローバルな社会ニーズに応え、都市・輸送・環境インフラの高度化に貢献する価値共創カンパニーを目指します。

経済価値の目標水準(2031年3月期)

経営指標	目標水準
売上高	4,000億円以上
海外売上高	1,000億円以上
ROE	12%以上
ROIC	10%以上

資本の拡充

財務資本

資本コストを意識した経営(ROIC経営)の実践と適切なキャッシュアロケーション

製造資本

持続的成長に向けた、戦略的な固定資産投資(生産設備・M&A等)

知的資本

社会のニーズ、求められる価値を洞察し、社会基盤を支える独創的技術・製品を創出

人的資本

人材への適正な投資による持続的な企業価値の向上

自然資本

社会からの高まる要求に対応する、環境負荷低減活動の実践

社会・関係資本

ステークホルダーへの価値提供による社会からの信頼向上

企業価値の向上

信頼信用

ステークホルダーへの価値提供

お客様

お客様の課題解決に技術・製品・サービスで貢献し続ける

従業員

自律的に挑戦する機会と、個人の能力が組織とともに成長できる環境を提供する

お取引先様

公正な取引と対等なパートナーシップを通じて取引先との共存共栄を実現する

株主

株主との対話を通じて経営の改善を図り、企業価値の最大化を目指す

地域・社会

事業活動により地域・社会の課題を解決し、共に発展する

長期経営計画 [SG-Vision 2030]

Sustainable Growth with Vision 2030 [SG-Vision 2030]



中期経営計画 [SG-2026]

[SG-2026]の最終年度である2027年3月期は、下記1「持続的成長の実現」に「E」防衛事業拡大」を追加しました。2027年3月期以降は飛しょう体および兵站関連への取り組みを強化し、防衛事業のさらなる拡大を推進していきます。引き続き、以下に示す6つの「基本方針」の取り組みを継続してまいります。

[SG-2026]中期経営計画 Sustainable Growth with Vision 2030 Phase2 [拡大]

2025年3月期～2027年3月期をPhase2 [拡大]とし、「長期ビジョン」を志向する第2ステップと位置付け、以下6つの基本方針を掲げて取り組んでおります。

基本方針 SG-2026	1	持続的成長の実現 A) 海外展開加速: 東南アジア・オセアニア・北米への展開強化 B) 戦略的M&A: 海外拡大、新事業創出への積極的活用 C) DX推進: データ活用による価値創造、新たなビジネスモデルの開発 D) 新事業創出: 事業シナジー、社外との価値共創による新事業創出 E) 防衛事業拡大: 長年培った信頼と実績を礎とした事業基盤の拡充と事業拡大
	2	事業ポートフォリオ・マネジメント A) ROICを基準に5事業を「成長力強化事業」と「収益力強化事業」に区分し、事業ポートフォリオ・マネジメントを実行 B) ポートフォリオの区分に基づいた投資および新事業創出で[SG-Vision 2030]を志向
	3	ROIC 経営の浸透と推進 A) ROIC 逆ツリー展開: 全部門・グループ会社でのスループットの増大、運営費の低減、大幅な生産性の改善 B) キャッシュアロケーション: 事業ポートフォリオ戦略に則った投資戦略によるROICの向上、財務の健全性を踏まえた資金調達
	4	人的資本の強化 A) 成長戦略に則った人材の獲得と育成: デジタルリテラシー教育、グローバル人材教育、高度専門人材の獲得、戦略的な人材ポートフォリオ B) 従業員エンゲージメントの向上: D&I推進、従業員のキャリア形成支援、女性リーダーの育成
	5	製品・サービスを通じた環境、社会への貢献 A) 環境: GHG 排出量算定Scope1・2のグループ会社への展開およびScope3の導入、環境適合製品認定制度の検討 B) 社会: ステークホルダーへの提供価値の拡大による企業価値の向上
	6	リスクマネジメント・コンプライアンスの強化 A) リスクマネジメント: 気候変動や人権問題に起因する事業リスクのモニタリングとCSR対応。BCM/BCP対応※、情報セキュリティ対策強化等 B) コンプライアンス: コンプライアンス教育、コンプライアンス意識調査の継続実施、内部通報窓口の活用強化

※BCM:事業継続マネジメント(Business Continuity Management)
※BCP:事業継続計画(Business Continuity Plan)

[SG-2026]経営指標

セグメント	売上高			営業利益		
	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	2027年3月期 [SG-2026] (目標値)	2026年3月期 (実績)	2027年3月期 (予想)	2027年3月期 [SG-2026] (目標値)
特装車	1,175億円	1,233億円	1,322億円	61億円	62億円	73億円
パーキングシステム	507億円	533億円	581億円	49億円	46億円	45億円
産機・環境システム	273億円	375億円	435億円	5億円	12億円	34億円
流体	299億円	290億円	280億円	46億円	43億円	45億円
航空機	415億円	471億円	389億円	25億円	37億円	27億円
その他	178億円	197億円	183億円	15億円	14億円	10億円
新事業	0億円	0億円	10億円	△4億円	△6億円	△18億円
調整額	—	—	—	△37億円	△38億円	△36億円
合計	2,850億円	3,100億円	3,200億円	163億円	170億円	180億円

持続的成長の実現—主な取り組み—

海外展開加速	●航空機事業:ボーイング向けコンポーネントの増産対応と売価改善 ●産機・環境システム事業:特殊電線の自動加工装置を開発し、東南アジア・北米・中国でのシェア拡大とインド・欧州などの新市場開拓
戦略的M&A	●全ての事業セグメントで海外メーカーのM&A・アライアンスを検討中 ●国内市場における業界再編、同業他社とのアライアンスを積極的に推進
DX推進	●流体事業:マンホールポンプ場向けクラウド監視システム「マンボネット®(クラウド)」に不明水診断機能を追加 ●産機・環境システム事業:リサイクル施設内で「リモートセンシング技術応用」(ホッパ内のごみ量可視化)、「火災・発煙検知技術」(火災事故を抑制)、車両管制技術(車両誘導人員、事務作業の削減等)の安全と省人化の効果
新事業創出	●産機・環境システム事業:次世代太陽電池の開発・製造に取り組むスタートアップ企業、株式会社エネコートテクノロジーズおよび、株式会社PXXIに出資。当社の真空成膜装置などの技術提供を通じて、両社の製品量産化を支援 ●パーキングシステム事業:次世代交通システムを開発するZip Infrastructure株式会社と資本業務提携し、社会実装に貢献
防衛事業拡大	●航空機事業:新規誘導弾開発において、2025年3月期より大手顧客からコンポーネントを受注し、設計・試作作業を開始 ●特装車事業:「25式地对艦誘導弾」および「25式高速滑空弾」に用いられる発射機的设计・試作作業に参画。2027年3月期からは量産対応を予定

事業ポートフォリオ・マネジメント

[SG-Vision 2030]のゴールを見据え、2028年3月期からの「飛躍」を志向

ROICを基準に5事業を「成長力強化事業」と「収益力強化事業」に区分し、投資戦略を推進すると同時に、5事業のシナジーと外部との価値共創による新事業創出に取り組みます。

